

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 トランスサイレチン型心アミロイドーシス診断における経胸壁心エコー左室長軸断層像での心室基部壁厚測定の有用性』

研究機関名 東邦大学医療センター大橋病院

研究責任者 循環器内科 職位・氏名 教授 原英彦

【試料・情報の利用目的】

取得した試料・情報はトランスサイレチン型心臓アミロイドーシスの心エコー検査による新たな診断方法の発見を目的とした研究に利用します。この研究で得られる成果は、今後のトランスサイレチン型心臓アミロイドーシスの診断につながります。トランスサイレチン型心臓アミロイドーシスは難病かつ希少疾患であり、症状が出現してから診断までに約1年かかると言われ、診断に難渋する疾患であります。しかし2020年11月からは診断に有用なピロリン酸シンチ検査が保険適応となりました。ピロリン酸シンチ検査は大変有用な検査ですが被ばくも伴います。その為被ばくのない心エコー検査から、ピロリン酸シンチ検査が必要な患者様を適切に見つけ出すことが重要となります。我々は心エコー検査における、心室基部の肥厚に着目することがトランスサイレチン型アミロイドーシスの患者様を疑うきっかけになると考えております。

【他機関への提供】

他機関への提供は行いません。

【研究に用いられる試料・情報】

情報: 患者背景(年齢、性別など)、病歴、採血、心電図検査、画像データ(心エコー検査、ピロリン酸シンチ検査、カテーテル検査)など

研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、個人を特定できる情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できる情報を報告・公開することはありません。

【試料・情報の利用予定日】

2024年2月より利用を開始します。

【試料・情報の取得方法】

対象者: 2020年11月～2023年12月までに東邦大学医療センター大橋病院循環器内科において、心臓アミロイドーシスを疑い心エコー検査並びにピロリン酸シンチ検査を施行された約55名の方

方法: 診療録(カルテ)から抽出したデータを解析します。

【研究組織】

代表施設名: 東邦大学医療センター大橋病院循環器内科

研究代表者: 原英彦 役職: 教授

【利用する者の範囲】

東邦大学医療センター大橋病院単一機関でのみ利用させていただきます。

【試料・情報の管理について責任を有する者の名称】

東邦大学医療センター大橋病院循環器内科 原英彦

本研究に関してご質問のある方、試料や情報を研究に利用することを承諾されない方は、2024年3月31日までに(過去に採取した既存試料を利用する場合)下記へご連絡下さい。申し出のあった方の試料・情報は、利用しません。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。尚、患者様ご自身がこの権利を行使できない場合(認知症等で訴えが困難あるいは既に死亡されている等)、代諾者の方(研究対象者の3親等以内の近親者あるいは法的な後見人)が診療情報等を研究することを承諾されない場合も下記までご連絡ください。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大橋病院 循環器内科

職位・氏名 教授 原英彦

電話 03-3468-1251 内線 7122